

ニュースレター限定 社長コラム

『平時の組織力はどこに現れる？』

代表取締役 近藤 千奈美

暑い毎日が続いていて、体調管理が難しいですね。

先祖が寒い地域出身なのか暑さにはほとんど弱くて、外を5分歩くだけでもシャワーを浴びたようになります…。

先日、勉強会仲間の会社様へベンチマークさせていただく機会があり、仲間の企業様と一緒に参加させていただきました。

見学先は車両整備の会社様。プログラムの全てを社員さんが仕切る中、事務所や整備工場での業務改善の取り組みを見学させていただきました。

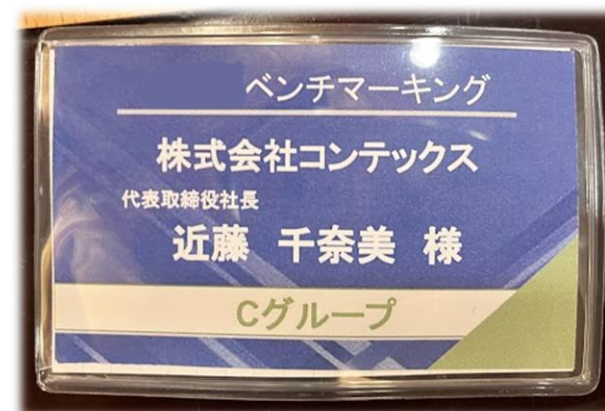
プログラム進行は入社2年目の社員さん。見学をさせていただいた拠点の店長様含め複数の社員さんが、自社の業務改善について汗だくで説明をしてくださいました。

見学者に満足いただくために事前の段取りから当日の説明まで、日頃の業務とはまったく異なるイベントを他部門の方々と連携して運営する。大変な時間、資金、そして努力を投じています。

社長様が何度も、「今日は、私が一切絡まず、社員の力で運営してくれた見学会です。私は最後のチェックだけ。環境整備という業務改善活動をやらなかったらこうした運営ができる会社になれなかった」と繰り返しお話していたのが、心に刺さりました。

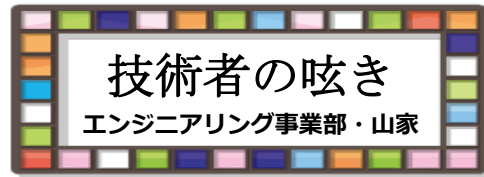
平時の組織力はそうした場面にも現れる。

弊社も頑張っていきます！

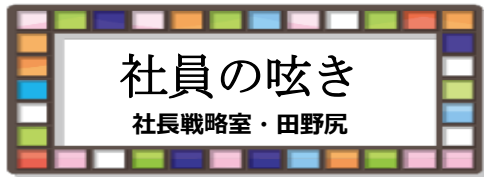




『行くぜ!! 全日本』



先日、全日本出場権を賭けて支部予選が行われた。台風の通過に伴い申し分ないサイズだが、ダンパーと呼ばれる一気に崩れてしまう乗りしろがない波。また大潮と言うこともあり強い流れが発生しており、ハードなコンディションでの戦いとなった。本戦に行けないときに勝てて行きたいときに勝てない、気合が空回りする相性が悪い試合。娘が誇れるようなパパになるため本戦に行きたかったのだが・・・今年も・・・ダメでした(悲)



『東京駅で新幹線』



先日、子供と一緒に東京駅へ新幹線を見に行きました。はやぶさ、こまち、やまびこ、かがやきなど、カラフルな新幹線をたくさん見ることができて親子で大喜び！鉄道好きな4歳の息子は、「今度全部の新幹線に乗る～！」と意気込んでいました(笑) 入場券は大人1名で150円。手ごろな値段で大人も子供も楽しめるスポットです。

ニュースレター限定 営業マンのコラム

『多忙な週末、戻る・・・』

コンテンツサービス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



私はプライベートでベースを弾きます。

ここ数年はイベントの中止が目白押しで、週末はのんびりとアマゾンプライムで映画を観たりして過ごしていました。

ところが今年は2月ごろから急にライブイベントが盛んになり始め、5月ごろから週末の忙しさが戻ってきました。今は11月までほぼびっしりのスケジュールとなりました。

怠惰な生活に慣れていた身体は、割とすぐに忙しさに適応しましたが、経年劣化による記憶力の方が心もとなく、泣きながら新曲を覚える毎日になっております。

それにしても、逆に忙しく動いているほうがリフレッシュできるものなのだと改めて実感しましたね。ステージでプレイした翌日の朝はそのギャップ感に眩暈を感じますが(笑)それがリフレッシュということかもしれません。

でも日曜は身体を休めたいと感じてしまうお年頃でもあるので・・・

あ、そうか！反省会を少し控えれば良いということですよ！

あ、今気が付いた！自己解決！(笑)



教えて！

翻訳 Q&A



Q: 業務で数字を扱うことが多いのですが、数字の前につける「約」の使い分けを知りたいです。

A. 様々な「約」に関する単語を知っていると細かな数字のニュアンスを表現できます。早速見てみましょう。

about/around 「おおよそ、約」を表す最も一般的な単語です。

"about"と"around"は意味に大差はなく交換可能であり、"about"はイギリス英語で、"around"はアメリカ英語で使われる頻度が高いです。"about/around 30%"は「30%前後」を意味し、"around"の方が若干広い範囲を指すことができます。"roughly"でさらに広い範囲を表せます。

approximately こちらも「おおよそ、約」を表す単語です。

"about/around"よりもさらに近い前後の数値を表します。正確さが求められる数や小数点以下を含む細かな数値に対してよく使用されます。長い綴りですので"approx."と省略することも多いです。

nearly 「約」という意味ですが上記の表現と異なるのは、**実際の数値の前後ではなく「下回る」近い数値のみを表す点**です。

"nearly 30%"は「約 30%」ですが、実際は 29%という場合はあっても 31%であることはありません。もう少しでその数値に達するというイメージです。

数値の正確性が最も高いのが"approximately"、次いで"about"、"around"最後に"roughly"の順になります。具体的な前後の数値の範囲には個人差がありますが、確度の高い数値情報なのかあるいはざっくりとした数字のイメージなのかで使い分けてみるといいでしょう。



コンテックスHP
下記 QR コードまたは
『技術翻訳
コンテックス』で検索！



HP にバックナンバーが
掲載されています♪